

広報誌

うえるふえあ

66号

2015.1.30

発行 社会医療法人慈生会広報委員会 鹿児島県枕崎市白沢北町191番地 TEL (0993) 72-0055



平成27年の年頭のご挨拶

社会医療法人 慈生会 ウェルフェア九州病院
理事長・院長 鮫島秀弥

皆様、明けましておめでとうございます。

今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

平成27年は干支で言えば「乙（木弟きのと）未（ひつじ）」となるそうです。未（ひつじ）には、植物が豊かに茂り、豊作を予感させる、というような意味があるとのこと。

私ども慈生会グループは、今年も引き続きウェルフェア九州病院を中心にして法人内各事業所が連携して「こころの病気」の急性期応需体制、ストレスケアへの応需体制、慢性期リハビリテーション、退院促進・社会復帰や在宅支援・就労支援などの地域生活支援体制、認知症疾患治療の地域連携の要の役割、合併症について地域の医療機関との円滑な連携、行政や福祉関連施設との円滑な連携等を引き続き行って参ります。

平成26年10月には病院機能評価認定病院の認定更新審査があり、職員一丸の努力で認定を受けることができました。自分たちの専門分野である「こころの病気や悩み」への治療や支援・相談体制をとおして地域の皆様と地域社会の発展と幸福へ貢献していけるように頑張っていきたいと思っております。何卒宜しくお願い申し上げます。



経営理念

- 患者様の健康回復に努め、もって患者様の生活安定と幸福に貢献すること
- 地域住民の健康維持管理に努め、もって地域社会の発展に貢献すること
- 職員の生活向上と幸福をはかること

基本方針

- ◇ 患者様に満足してもらえる医療を提供します
- ◇ ストレス社会と高齢社会に対応した専門医療を提供します
- ◇ 地域医療に対応したプライマリーケア機能を高めていきます
- ◇ 高い技能と優れた人格を併せもった人材を育成します

機能評価更新受審を終えて

事務部長 日渡良二

平成 26 年 10 月 23 日、24 日両日に、日本医療機能評価機構による更新受審を実施致しました。

当院の 4 回目の更新受審を顧みれば、平成 25 年 4 月 23 日の管理者会議において更新受審を決定し、その後の運営会議にて院長より各所属長へ向けて正式に受審するとの発表がありました。（受審希望月より約 1 年 6 ヶ月前の事でした。）その後、受審申込や希望受審日の決定等の事務手続きを済ませ、同年 10 月にプロジェクト委員会を立ち上げ、院長のキックオフ宣言を合図に本格的な作業に入りました。

今回は新バージョンでの受審となり、毎月のプロジェクト委員会で項目のチェックをし、また 3 度（平成 25 年 11 月、平成 26 年 2 月、5 月）の自己評価検討を実施し、当院で弱い項目を絞り込み、改善していきました。またケアプロセス中心の評価という事もあり実践例を何回も繰り返しながら、本番に備えました。受審した事で当院の質改善に繋がりを、今後も継続的な質の向上に努めていければと思います。

院長がキックオフ時に言われた「職員全員で頑張りましょう」を合い言葉に、職員皆さんが同じ目標に向かって挑む気持ちが高評価に繋がったのだと確信しております。

年明け早々、認定の朗報を受け 1 月 28 日に認定証が届きました。職員の皆様、大変お疲れ様でした。そして、ありがとうございました。



受審病院説明会にて
（平成 25 年 10 月 15 日 日本医師会館）

病院機能評価を終えて

看護部長 城ヶ崎けい子

当院は、平成 11 年 11 月に初回病院機能評価受審（以後受審と略）・認定取得し、今回、平成 26 年 10 月（3rdG:Ver.1.0）は 4 回目の受審となりました。患者様に選ばれる病院、地域に根差した医療、良質な医療提供を最大の目的とし、医療機関の生き残りをかけた方策の一つとして、病院機能評価に取り組みました。受審する事により、組織的に医療を提供する為の機能が適切であるかどうか明確になり、その結果、抽出された新たな課題に対して改善を図り、医療体制充実の一層の向上が図られたという大きなメリットがありました。

この度、4 回目の受審にあたって、各部署間の連携が強化され、同じ目標に向かって努力した取り組みの一端を述べたいと思います。（次ページへ）

➤ 受審への取り組み

今回 3rdG:Ver.1.0 では、「患者様の視点に立った良質な医療の実践」を重点的に評価するという新評価項目体系になりました。

これまでは、構造的な部分に重きが置かれていたのが、今回は過程を重視し、更に結果に反映されているかの評価となっていました。その為、患者様の視点に立ち、適切な運用・運営がケアの基準に沿って遂行され、その内容が記録として残してあるか等の見直しと整備に時間と労力を要しました。まず、担当領域の自己評価の見直し、改善状況を院内ネットワークにて入力し、病院機能評価受審プロジェクト会議にて、随時報告し、検討を重ねました。又、ケアプロセスについては、診療部が中心となり、訪問病棟における症例を選び、外来から入院・退院迄の対応について、全部署で合同シミュレーションを繰り返し行いました。そして、問題点を抽出し改善点を修正してチームワークを一層強化し情報共有を図りました。その結果、平成 26 年 12 月に受審更新認定（中間）を頂き、その中でも平成 14 年から運用しているクリニカルパスに関連した項目等について S（秀でている）の評価を頂きました。これは、当院が多職種チームとして協働し、全職員が、良質な医療を提供する努力を継続してきたからこそ得られたものだと思います。

今回、受審への取り組みを通して自院の現状を把握する良い機会となりました。患者様にとって満足出来る最善の医療サービスは、改善を継続的に繰り返された良いプロセスから生まれるのだと痛感しております。

今後も、組織運営や人材育成を強化しながら、評価を頂いた事で明確になった課題について、多職種チームで取り組んでいきたいと思っております。そして、次回の更新に向けてこれまでの努力と成果を無駄にする事のないように継続的に改善していこうと考えております。

最後に、全職員の努力、団結力、実践力に心から感謝致しております。

➤ 病院機能評価について

評価項目は 4 つの領域に分類されています。

第 1 領域：患者中心の医療の推進

第 2 領域：良質な医療の実践 1

第 3 領域：良質な医療の実践 2

第 4 領域：理念達成に向けた組織運営

◇ 評価項目の構成

大項目→対象領域における枠組みをあらわす項目

中項目→直接評価の対象となる項目

評価の視点（中項目を評価するための視点）

評価の要素（中項目を評価する際に参考とする要素）

◇ 評価の定義（中項目 4 段階評価）

S：秀でている

A：適切に行われている

B：一定の水準に達している

C：一定の水準に達しているとはいえない



1月28日
認定証が
届きました



認知症フォーラムin南薩 第8回枕崎メディカルミーティング開催



平成 26 年 11 月 1 日（土曜日）、枕崎市医師会をはじめ 5 団体との共催、9 団体からの後援を受け、認知症フォーラム in 南薩・第 8 回枕崎メディカルミーティングをサンフレッシュ枕崎にて開催し、125 名の参加がありました。

第一部では、鹿児島県介護支援専門員協議会南薩支部会員による事例報告を行いました。特別養護老人ホーム南方園・主任生活相談員・大迫睦樹氏と小規模多機能ホーム花渡川・管理者・阿久根郁代氏のお二方より、認知症の利用者に対する支援経過の報告があり、リスク管理への対応方法やご本人・ご家族を最優先に考えることなど、多くのことを考えさせられた報告となりました。

第二部の特別講演では、谷山病院認知症疾患医療センター・副センター長・介護老人保健施設愛と結の街施設長の黒野明日嗣先生より「認知症ケアとは何か」と題して、認知症の BPSD の対応方法などのご講演をいただきました。「認知症は、人と人との関係を壊す病気であり、それをいかに食い止めるかが大切であること。そのためには互いに認め合い日頃からのコミュニケーションが重要になること。BPSD が出る要因は数多くあり、BPSD は対応するものではなく出さないようにすることが大切であること」などの内容で、有意義なご講演となりました。

第三部では、国見内科医院院長の国見聡宏先生が司会進行され、黒野先生と当院の鮫島秀弥院長と 3 名の医師を中心に、事前にいただいたアンケートを基にパネルディスカッションを行いました。

多くの方に参加頂き、人と人とのコミュニケーションの重要性を感じた研修となりました。

認知症疾患医療センター

（ウエルフェア九州病院内）

受付時間：平日 9：00 ～ 17：00

TEL：0993（72）4747

- ① 専門医療相談
- ② 鑑別診断とそれに基づく初期対応
- ③ 合併症・周辺症状への急性期対応
- ④ かかりつけ医等への研修会の開催
- ⑤ 認知症疾患医療連携協議会の開催
- ⑥ 情報発信

認知症セミナーin南薩開催

平成 26 年 12 月 10 日（水）、コミュニティセンター川辺文化会館において、当院認知症疾患医療センター、武田薬品工業株式、ヤンセンファーマ株式会社共催で「認知症セミナーin 南薩」を開催致し、総勢 153 名の医療保健福祉関係者に参加して頂きました。

今回は、かかりつけ医認知症対応力フォローアップ研修を兼ね、かかりつけ医の先生方のみならず医療・保健・福祉関係者に参加していただきました。熊本県で先進的な認知症医療ネットワーク「熊本モデル」の地域拠点型認知症疾患医療センターとしての役割の担われておられる、平成病院認知症疾患医療センター・センター長の坂本眞一先生を講師にお迎えし、国の認知症施策、熊本モデルについての講演をいただきました。熊本県では、県を中心として認知症施策に取り組み、火の国あんしん受診手帳（通称：くまモン手帳）を活用し、認知症医療・介護及び関係機関の更なる連携強化を図っているとの内容でした。また、行政との連携も強化し、地域包括支援センターへ出向き診察を行い、信頼関係が構築されてから認知症疾患医療センターへ受診につながるなど、アウトリーチにも力を入れているお話などあり、当院としましても大変参考となるセミナーとなりました。

当日、会場が広すぎた関係もあり、暖房を入れていたにも関わらず寒さが際立ち、参加者の皆様には、大変ご迷惑もおかけいたしました。

次回は、3月28日（土曜日）に、今年度2回目のかかりつけ医認知症対応力向上研修を実施予定です。かかりつけ医の先生方だけでなく、医療保健福祉関係者も参加可能ですので、多くの方のご参加をお待ちしております。

行事食（レストラン課）

月 1 回実施される行事食の紹介です

10月

秋の御膳

疲労回復や視力回復を目的とした薬膳料理です



飾り花は野菜で作られています

11月

寿司膳

食欲増進と滋養強壮により薬膳料理です



1月 **おせち料理**

疲れた胃腸を元気にし食欲増進を目的とした薬膳料理です



12月

クリスマス

体を温め胃腸を元気にする薬膳料理です

作品紹介

妻は世界一だったイブの夜 (PART 1)

今日はクリスマスイブ。街はイルミネーションで輝き、若いカップルで満ちあふれていた。そんな夜、二人はささいな事で喧嘩をした。いつもの事だったが良美は助手席のドアを開け無言でおりた。そして強めにドアを閉めゆっくり歩いていった。ヒロシは遠ざかって行く良美の姿をバックミラー越しに見つめ煙草に火をつけた。ウィンドガラスを下げると寒風が頬を突き刺した。そして後悔している自分に気づいた。今夜は自分から謝りたくなかった男のプライド、ちっぽけなプライドだった。ハンドルの上で小さく動かししていた指を止め煙草をもみ消しハンドルを切り思いきりアクセルを踏み込んだ。すると遠くを歩いている良美の姿が小さく見えた。ゆっくり近づき車を良美の横に止めた。良美は別におどろかなかった。これはすべて良美の「作戦」どおりだった。ヒロシを見つめ「ようこそダ〜リン」と微笑した。「あ〜あどうして小心者を好きになったのかしら」。ヒロシはごめんといって助手席のドアを閉め良美に詫びた。良美は今夜は別人のようだった。そして良く喋った。今まで喧嘩していたとは思えぬほどの笑顔だった。



ねえヒロシ、今夜はわたしに付き合ってください。もちろん夫婦だもの。とヒロシはこたえた。良美は店へと車を案内した。10分ほど店のかんばんが見えて来た。そのネオンにはシュ克蘭と書いてあった。ヒロシは車を駐車場に止め良美の後をついて行った。店のドアを開けるとボーイが迎えて来れた。名前を言うと、10席あるテーブルの一番奥の丸いテーブルへ案内した。

ヒロシはビックリした顔でおちつかなかったが、まもなくすると、笑顔にもどった。ヒロシは、これってサプライズとたずねたが、とても嬉しそうだった。この店ね、3ヶ月前から予約したの。ヒロシ良く聞くのよ、「これからがサプライズよ」良美は喋り続けた。今日、病院に行ったの。そしたらビックリよ「3ヶ月」だって。それを聞いたヒロシは口を開いたまま、言葉にならなかった。あまりの嬉しさに表現出来なくなっていた。パパになるのよヒロシは。良美が大きな瞳を見つめ強く手を握っていた。良美はヒロシの目に光るものを見ていた。ヒロシはただありがとうをくり返した。

ボーイがシャンパンを運んで来た。二人のグラスにそそがれた。そして二人乾杯した。「神様にありがとう感謝しなくては」良美は笑顔で喋った。ねえ、なぜ、シュ克蘭と言うこの席にしたかわかる。アラビア語で、ありがとうって意味なの。今夜の酒は人生最高の味、そして最高のサプライズ、ありがとうシュ克蘭、そして外は銀世界だった。

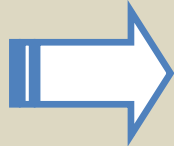
PN.桜花



精神科デイケア「あおぞら」の作品です。

お花紙を小さく切り、丸めた物を貼り付けて絵を作成します。作品が出来あがる度に技術が上がり、細かい部分まで丁寧に作られてあります。今回は簡単に完成までをレポートします。

①下書きを描きます。(これはスタッフで行います)



②下書きに丸めたお花紙を貼っていきます。



↓この“まるめ”を作る作業がとても大変なんです！



③背景を貼り、完成!! です。

現在、医療事務課前の廊下にて展示中ですのでぜひ、一度ご覧になって下さい。



初詣 (デイケアあおぞら)



1月6日に枚聞神社に初詣に行きました。いろんな面で良いご縁がたくさんあるようにと何枚も5円玉を用意している方もいました。鈴緒をガラガラ鳴らし、なが〜くお祈りをしている方やおみくじも種類があり、どれを引こうか悩んでいる方もおられ、内容をよく見て紐に結び付けたりしていました。みなさん、「来てよかった！」と表情よく話されていました。参拝の後の楽しみとして、出店です!! フライドポテトや大学いもを美味しそうに食べていました。食べているメンバーを見てつられて食べていた方も・・・(笑)

ストレスについて

今回から3回にわたって、ストレスについて掲載させていただきます。

○ストレスとは…

もともとは、何らかの力が加わって歪みが生じた状態⇒心と体に負担がかかった状態




ストレスのない状態

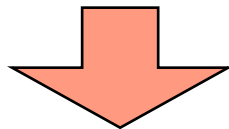


抜粋：『親子で楽しむストレスマネジメント』

○ストレスはない方がいい？

例)

少なすぎるストレス	適度なストレス	多すぎるストレス
何もすることがなく、 ところとからだは鈍 くなってくる。 ⇒毎日にメリハリが なくなり、だらけてし まう… 	やる気や意欲が出て きたり、乗り越えるこ とで達成感や満足感 を得ることができる。 ⇒日々の生活を豊か にしてくれる。 	なかなか解消できず、 ところもからだも疲 れてしまう。 ⇒気持ちが落ち込ん だり、からだの調子を 崩したりする。 



ストレスがあることが悪い事ではなく、大切なのは、ストレスと上手く付き合っていくことです！

次回はストレスがどのように起きてくるのかストレスの仕組みについて掲載させていただきます。

棒踊り・太鼓踊り



10月28日に、山口棒踊り保存会と東鹿箒太鼓踊り保存会の皆様により踊りが披露されました。この踊りは、毎年南方神社、妙見神社の豊年祭りで奉納されるものです。山口、東鹿箒の方々、有難うございました。

回想の窓
♡心理室♡

うみがめ病棟で週一回行っている回想法の中で、先日、『初恋』をテーマに語り合いました。初恋について語られるみなさんのお話がとっても素敵だったので、少しでも、ご紹介いたします。話題のきかけとしてハートのついたお手紙をお見せすると、見た瞬間から「わ♪ラブレター！！」と“どきどき”“ワクワク”な表情をみせてくださっています。

- Aさん：「前の男子を呼ぶときは消しゴムのかすを（息で）ふって飛ばして呼ぶの…」
「授業中は“誰々が好き”とか“誰々が振り向いてくれない”とか手紙に書いて先生に見つからないようにまわしてたの！」
- Bさん：「学校でこっそり、好きなひとと会っていたの」
- Cさん：「先生に対してふざけてばっかりいた…今思えば、あれが初恋だったのかも。気がひきたくって」
- Dさん：「小学3年生のころ、一つ上の足の速い先輩が好きで…」
- Eさん：「夜の海でこっそりと♪親にみつからないようによ～」
- Fさん・Gさん：「…旦那さんが初恋です」

その他『料理』や『仕事』、『昔の遊び』等様々なテーマで豊かな知識、経験、お気持ちを語って下さっています。中でもこの『初恋』はいま、恋をしているかのような瑞々しい回想が繰り広げられ、ますます素敵みなさんだと感じたところです。これからも少しでもたくさんみなさまにこういった場を提供させていただければと思います。

第24回コスモス会 報告

平成26年11月29日（土）に第24回コスモス会を開催しました。今回は、社会福祉士とケアマネジャーの資格を持ち、鹿児島県内の福祉分野で活躍

されておられます、NPO 法人福祉相談センターかけはしの前山聡宏氏をお迎えし、『地域における見守り活動について』と題して、見守り活動のポイントや現在の取り組みについてご講演いただきました。参加されたご家族様からも、「周りの人とのつながりが大切であることを学ぶことができました」との感想をいただきました。また、私たちスタッフも現在の取り組みを知り、地域で生活をされる方々が安心して生活できる環境を作っていく事の大切さを改めて感じた会となりました。今後もこのような講演会を通して、認知症について多くのことを知っていただきたいと考えております。家族会への要望などありましたら、スタッフへお気軽に声をおかけください。（コスモス会実行委員会）



ウエルフェア九州病院
診療実績(2014.10月~12月)

3ヶ月平均
1日外来患者数
・・・114.6人
1日入院患者数
・・・167.8人

区 分		10月	11月	12月
外 来	患 者 延 数	2940	2719	2935
	新 規 患 者 数	24	24	38
	平 均 患 者 数	113.1	113.3	117.4
入 院	入 院 数	21	14	28
	退 院 数	19	17	15
	患 者 延 数	5174	4980	5283
	平 均 患 者 数	166.9	166.0	170.4
	平 均 在 院 日 数	258.7	321.3	245.7

屋内消火栓競技大会に参加して

知っている方も少ないのではないかと思います。11月29日（土）に枕崎市消防本部訓練場にて屋内消火栓競技大会が開かれました。それは枕崎市が今回始めて開催するもので、火災による人命、財産の保護及び被害の軽減を図るため、各事業所に設置されている消防用設備等（屋内消火栓・屋外消火栓）の操法競技会を実施することにより、消火技術の習熟及び初期消火態勢の体得と操作技術の習得を図り、事業所における防災能力の向上を期することを目的とするものでした。機能評価が終わってホッとしていた頃に声がかかり、当院の自衛消防隊として作業療法課の辻本と、うみがめ病棟の岩下剛が参加することになりました。

大会当日は南方園、サザン・ケアセンター、サザン・リージョン病院、サザンヒルズから男性4チーム、女性3チームの参加でした。どのチームもユニホームを揃えたりして気合の入った万全の態勢でした。当院チームの結果は最下位となりましたが、消火栓の使い方・放水のやり方等、初期消火に役立つ内容でした。

大会は今後も継続して行っていくとのことでしたので、防災委員会や女性のチームなど、様々なスタッフが参加し当事業所の防災能力を向上させていく必要があると思いました。

辻本貴志



枕崎ヘリポート総合訓練に参加しました

11月20日に、枕崎ヘリポートで行われた総合訓練に当院から院長鮫島秀弥と看護師白澤恵が参加しました。訓練ではドクターヘリでの搬送訓練も行い、災害が起こったときに対応できるよう真剣に取り組みました。



枕崎市の 消防団活動協力優良事業所 表彰を受けました

1月11日の消防出初式にて授与式
がありました



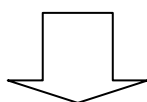
限度額適用認定証についてのお知らせ

この度、平成27年1月より70歳未満の方は限度額適用認定証が一部変更になりました。今回の変更点は、所得区分を詳しく分け、それぞれの年間の所得に応じた負担になるように限度額負担金に変更となっております。(70歳以上75歳未満の方の限度額の変更はありません。)

<70歳未満の方のみ>

平成26年12月31日まで

所得区分	3回目まで	4回目以降
上位所得者	150,000円＋医療費が500,000円を超えた場合は、その超えた分の1%	83,400円
一般	80,100円＋医療費が267,000円を超えた場合は、その超えた分の1%	44,400円
住民税非課税世帯	354,00円	24,600円



平成27年1月1日より

所得区分	3回目まで	4回目以降
所得が901万円を超える	252,600円＋医療費が842,000円を超えた場合は、その超えた分の1%	140,100円
所得が600万円を超え 901万円以下	167,400円＋医療費が558,000円を超えた場合は、その超えた分の1%	93,000円
所得が210万円を超え 600万円以下	80,100円＋医療費が267,000円を超えた場合は、その超えた分の1%	44,400円
所得が210万円以下 (住民税非課税世帯を除く)	57,600円	44,400円
住民税非課税世帯	354,00円	24,600円

患者様の権利

- ◆あなたは、その生命・身体・人格を尊重されます。
- ◆あなたは、医療機関を選択し、セカンドオピニオンを取得すること、または転医することができます。
- ◆あなたは、医療を受けるにあたり、自分の状況を理解するために必要な情報を得ることができます。
- ◆あなたは、自らの自由な意思に基づいて診察・検査・治療等の医療行為を受け、選択し、または拒否することができます。
- ◆あなたの個人情報保護されます。

患者様の責務

- ◆私は、インフォームドコンセントに基づき自らの意思で医療行為を受け、病気の治療に専念します。
- ◆私は、医師や看護師等の療養上の指示に従い、共同して自らの治療に参加します。
- ◆私は、療養中は病院の規則に従い、病院や他の患者様に迷惑をかけません。
- ◆私は、医療費などの支払い請求を遅滞なく支払います。



ご意見箱

当院では意見箱を設置し、患者様、ご家族様からのご意見・ご要望に出来るべく取り組んでいます。寄せられたご意見・ご要望と、それらに対する回答を一部紹介します。

- 診察時間より待ち時間の方が長い。もう少しスムーズに早く対応してほしい。
⇒長くお待たせして不快な思いをさせてしまい申し訳ありませんでした。H26年9月より外来体制変更となり、皆様にはご迷惑をおかけしております。受付に外来看護師を配置しフロアの状況把握をし、診療がスムーズに流れるよう努めていきますのでご不明な点がございましたら遠慮なくお声をおかけ下さい。
- 病院食はバランスや色どり季節感などどれも工夫されたものばかりでいつも食事が楽しみでした。おいしくてお料理も本当に美味しかったです。これからも頑張ってください。ありがとうございました。

医療福祉相談窓口

相談の窓口として、精神保健福祉士（医療福祉相談）が対応しています。経済面、年金、保険、加療中のご心配、また、要望や苦情などお気軽にご相談ください。相談内容についての秘密は厳守いたします。無料です。

受付時間 月～金 9：00～17：00 土 9：00～12：00
(日曜・祝日は除きます)

相談を希望される方は、直接、当院地域医療福祉連携課窓口にお越しいただくか、病院職員にお申し出ください。電話での相談も受け付けております。

お知らせ

- 精神科当番
1/25 (日)
3/22 (日)
- 内科当番
2/22 (日)
4/26 (日)

【編集後記】

2015年がスタートしましたね！乙未（きのとひつじ）年ですが、乙は草、未は草食動物で控えめですが、柔軟性と粘りがあり、大転換や大変化を起こす意味があると言われていたようです。今年も皆様にとって素敵な一年になりますように・・・☆



発行人 鮫島秀弥 社会医療法人慈生会
〒898-0089
鹿児島県枕崎市白沢北町191番地
TEL (0993) 72-0055 FAX 72-1199
URL <http://www.wkh.or.jp/>
E-mail jiseikai@wkh.or.jp
ウエルフェアは
健康・幸福・福祉・繁栄を意味します。